

報道関係各位

プレスリリース

2026 年 9 月 1 日  
株式会社 Liberaware

## 千葉市豪雨災害で被害を受けた排水路調査を実施 ～「IBIS2 Chainage」を活用し、被災箇所のスクリーニング調査を実施～

令和 8 年 8 月の千葉市豪雨災害により被災された皆さま、ならびにそのご家族の皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

株式会社 Liberaware（本社：千葉県千葉市、代表取締役：関 弘圭、以下「当社」）は、2026 年 8 月 27 日に、千葉市豪雨災害により被害を受けた排水路において、千葉市からの委託を受け、受託業務として最新モデルの狭小空間点検ドローン「IBIS2 Chainage」を用いたスクリーニング調査を実施したことをお知らせいたします。



### ■背景

令和 8 年 8 月 13 日から 14 日にかけて起きた千葉県の集中豪雨により、大きく破損した道路が多数発生しました。そうした中、被災地の一つである千葉県千葉市では、現在は一部修復されているものの、普段は歩道だった箇所が大きく崩れてしまうなどの被害を受けており、二次災害の危険性や人が容易に立ち入れない過酷な環境下において、安全かつ迅速な状況把握が求められることから、本調査の実施に至りました。

### ■概要

千葉市内における長さ約 750m の蓋掛け排水路を対象にスクリーニング調査を千葉市からの委託を受け、受託業務として実施しました。

普段は歩道だった箇所が大きく崩れてしまった排水路の内部に対し、当社の狭小空間点検ドローン「IBIS2 Chainage」を投入し、飛行による安全な調査を実現いたしました。

## ■調査当日の様子



## ■今後の展望

当社は、今回の調査実績を通じて得られた知見を活かし、今後も災害時のインフラ点検や被災状況の早期把握など、安全な社会の実現に向けた取り組みを推進してまいります。引き続き、見えないリスクを可視化する技術の提供を通じて、全国の防災・減災に貢献してまいります。

## ▼株式会社 Liberaware について

株式会社 Liberaware は、「誰もが安全な社会を作る」をミッションに掲げ、世界でも珍しい「狭くて、暗くて、危険な」かつ「屋内空間」の点検・計測に特化した世界最小級のドローン開発と、当該ドローンで収集した画像データを解析し顧客に提供するインフラ点検・維持管理ソリューションを行っております。弊社は、ビジョンでもある「見えないリスクを可視化する」ことに邁進し続け、人々に安全で平和な社会をお届けします。

会社名：株式会社 Liberaware（リベラウェア）

代表者：関弘圭（ミン・ホンキュ）

所在地：千葉県千葉市中央区中央 3-3-1

設立：2016 年 8 月 22 日

事業内容：

- ・ドローン事業：ドローン等を用いた調査・点検・測量サービス、自社開発のドローン等の販売・レンタルサービス
- ・デジタルツイン事業：ドローン等により取得したデータの画像処理、データ解析サービス、及び当社画像処理技術のライセンス提供
- ・ソリューション開発事業：ハードウェアからソフトウェアまで幅広いソリューションを提供する受託開発事業

URL：<https://liberaware.co.jp/>

Xアカウント：<https://x.com/liberaware>

〈本件に関するお問い合わせ先〉

株式会社 Liberaware 広報：前

TEL：090-9019-9057 / 043-497-5740 MAIL:pr@liberaware.com